



2018 4
平成30年

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階A号
☎ 3430-6617 FAX3430-6743

市民の文化活動育み40年



中央公民館

図書館も併設

中央公民館は、狛江市民センター（和泉本町1-1-5）に中央図書館と併設され、初の市立公民館として昭和52年に開館した。以来、社会教育活動の拠点としてさまざまな事業を展開してきた。

同センターはのべ床面積3,692平方メートルの鉄筋コンクリート造り地上2階、地下1階で建物内には文化・創作活動に利用できる充実した設備がある。

1階は展示スペースを備えたアプローチホール、事務室のほか、面積367平方メートルの図書館がある。2階は講座室、会議室4室、畳敷きの茶道や華道などに利用できる和室などがある。地下1階は展示会、発表会など多目的に使えるホール、料理実習室、視聴覚室、陶芸窯などがある美術工芸室、郷土資料室、託児のための保育室などがある。

開館時間は午前9時から午後9時30分。休館は第1・3回と祝日（海の日、敬老の日、体育の日、成人の日を除く）、年末年始。公民館施設の利用は事前に団体登録が必要。

年間9万人が利用

中央公民館は、62年の西河原公民館の開館にともない分館になったが、市の中心部に位置するため、多くの市民が利

用しており、年間の利用者は90,902人（平成28年度）を数える。

同館では市民大学、成人学習事業、女性セミナーなどさまざまな講座や、青少年向けに学校・学年を越えた仲間づくりをする子どもの広場や野外サークル、青年教室などを開いている。地下1階と2階にあるオープンスペースを利用する人も多い。

また、狛江市民まつりの一環として文化祭が秋に催されるほか、春には創作展、中央公民館のつどいなど、全市規模の

狛江市内にある市民の文化芸術活動や地域活動を支えるコミュニティー施設を取り上げ、その特色や利用団体を紹介します。

新連載

イベントの会場として使われている。また、利用団体相互の連携や交流を図ることを目的に「中央公民館利用者の会」が平成27年度に発足。同館の活性化のため市民が気軽に立ち寄り、利用団体の活動に触れてもらおうと昨年12月から毎月第4回に「公民館ロビーコンサート」を開催、同館を中心として活動している団体が出演、市民に好評だ。問い合わせ☎3488-4411中央公民館。



ホール

面積234平方メートルで定員150人。可動式のステージや音響設備を備えており、式典や展示会、発表会などに利用できる。また、ダンスなどの練習にも幅広く使われている。



視聴覚室

面積106平方メートル。床はカーペット敷きで防音設備が施され、音響設備に加えスクリーンなどの映像設備、ピアノを備える。音楽の練習のほか、講演会などにも使われる。



和室

面積59平方メートル。36畳敷きで中央のふすまで18畳敷き2室に分けることもできる。日本舞踊や着付けなどの練習に利用できるほか、茶道に使う埋め込み式の炉もある。



保育室

面積60平方メートル。子どものためのすべり台、シーソーやさまざまな玩具などを備えており、畳やカーペットを敷いたコーナーもある。



記念講演をする的川さん

開館40年祝う「つどい」

JAXAの的川さんが記念講演

第33回中央公民館のつどいが3月7日（日）～11日（木）に催され、同館を利用している団体などが普段の活動の成果などを発表した。

今回は中央公民館と中央図書館の開館40周年記念として催され、10日には記念式典のほか、「宇宙からのメッセージーいま、日本で生きるきみたちへ」と題し宇宙航空研究開発機構（JAXA）名誉教授で、はまぎんこども宇宙科学館館長の的川泰宣さんが講演した。的川さんが携わった小惑星探査機はやぶさに関するエピソードなどが披露され、子どもたちは目を輝かせながら聴き入っていた。

コカリナサークルこまえ

コカリナサークルこまえ（周東三和子代表）は木製楽器コカリナの演奏グループ。

コカリナは南米の陶製の楽器オカリナに似たやさしい音色が特徴で、ハンガリーの民族楽器を元に日本で改良が加えられ、平成10年に長野オリンピックの会場で子どもたちが演奏したのをきっかけに広く知られるようになった。大きさや木の材質によってソプラノ、バリトン、バスなど広い音域が出せるよう改良が加えられ、ソロだけでなくアンサンブル演奏を楽しめるようになった。

江東区のコカリナ教室に通っていた周東さんが知人に呼びかけて24年に会



つどいコンサートで演奏

員8人で同会を結成した。現在は40代から70代の女性14人が練習を続けており、レパートリーはアイルランド民謡や唱歌からジャズまで約120曲を数える。中央公民館のつどいコンサートのほか、昨年のはこまえ平和フェスティバル、同館の第1回ロビーコンサートで演奏を披露。また、3月10日田のつどいコンサートに出演、「おおスザンナ」「夜明けのスカット」など10曲を演奏した。

会員たちは「ひとりで吹くのも良いけれど、多くの人と演奏するハーモニーのすばらしさは格別です」と話し、参加を呼びかけている。

例会は毎月第1・3回午後6時30分～8時。月会費2,500円。

問い合わせ☎3480-8711周東さん。

もーいい会

もーいい会は、子育て中の母親が身近なテーマについて話し合い、意見や知恵を交換し合っている。

公民館主催の女性セミナーの参加者が集まって平成26年に発足、現在、渡邊妙子さんら市内で未就園児を持つ母親7人が毎週集まって活動している。

育児などに関する話し合いのほか、絵本を紹介し合ったり、一緒に料理を作ることもある。また、メンバーの抱える悩みなども取り上げ、知恵を出し合うことで解決の糸口が見つかることも多い。

3月10日・11日の公民館のつどいでは、喫茶室を開き、来場者に軽食などを提供したが、そうしたイベントの準備を一緒にすることも、メンバーのコミュニケーションづくりに役立つ。

活動中、メンバーの子どもたちは保育室で保育者に世話をしてもらえるので安心して活動できる。また、子どもたちも母親から離れて、友達や保育者と過ごすことで集団行動に慣れるきっかけになる。保育者から子どもの様子を聞いて子育て方法を見直すこともあるという。

メンバーたちは「子どもと離れて、おとな同士でじっくり話せるのはとても貴重です」「公民館という公共施設を利用することで、なんとなくではなく、目的意識



育児などについて話し合い

を持って、時には意見をぶつけ合いながら活動しており、親子一緒に成長できていると思っています」と話している。

例会は毎週木曜午前10時～正午。

問い合わせ☎sky.t@me.com渡邊さん。

あけぼの歴史研究会

あけぼの歴史研究会（相馬光子代表）は、世界史のテキストを会員と一緒に読んで調べることで歴史を学ぶ楽しさを味わっている。

昭和48年に社会教育課が催した近代史講座の受講生が中心になって同年に結成、ことして45年を数える。

最初の頃は日本近代史を学習したが、現在は古代から近代に至る世界史をテーマにしている。世界史を扱った本を選び、男性5人、女性6人の会員が分担して、自分の受け持った章について調べて月2回の例会で発表、会員同士が疑問や意見を出し合って議論を深めており、1冊を読み終えるのに2～3年かかるという。

発表に備えて半年前から準備する熱心な会員もあり、「学生の頃は受け身だったが、自分で文献を探して勉強したり、他の人と一緒に議論することで、知識が自分のものになります」と話している。

後継者不足が悩みで、「若い人たちに歴史を学ぶ楽しさを知ってほしい」と入会を呼びかけている。

例会は毎月第2・4回午前10時～正午。年会費1,000円。

問い合わせ☎3480-3238相馬さん。



テキストを元に一緒に世界史の学習